

CS 入門 4b クラス 第8回資料 (2012.11.22)

担当: 伊知地 宏

1 前回の問題の解答

[問題 7.1] ユークリッドの互除法で最大公約数を求める関数 `gcd(x,y)` を基に, 計算の繰り返し数を返す関数 `gcd_bench(x,y)` を作りなさい.

```
def gcd_bench(x,y)
  r = x % y
  times = 1
  while r > 0
    x = y
    y = r
    r = x % y
    times = times + 1
  end
  times
end
```

[問題 7.2] どのような場合に, ユークリッドの互除法でも計算回数が増えるのか考察しなさい.

`gcd2_bench(144, 89)` の値は 10 となる. その周辺では, `gcd2_bench(146, 89)`, `gcd2_bench(153, 89)` の値が 8 になる. (146, 89) と (153, 89) という組の場合にも, ユークリッドの互除法で計算を行うと, 計算の途中経過で割り算の商のほとんどが 1 となる.

フィボナッチ数の隣り合う 2 数の最大公約数を求める場合に, ユークリッドの互除法の計算が最も長くなるが, それだけでなく, 最大公約数が 1 でユークリッドの互除法での計算で商が 1 の場合が多い数の組でも計算の手間がかかる.

[問題 7.3] フィボナッチ数の計算を行う計算量 $O(n)$ の関数 `fib(n)` を作りなさい.

```
def fib(n)
  f = 1
```

```
  p1 = 1
  for k in 2..n
    p2 = p1
    p1 = f
    f = p1 + p2
  end
  f
end
```

[問題 7.4]

1. n の k 乗を n を単純に k 回掛けて計算する関数 `power1(n, k)` を作りなさい.
2. n の k 乗をもっと効率よく計算する関数 `power2(n, k)` を作りなさい.
3. 関数 `power1(n, k)` を基に, 計算の繰り返し回数を返す関数 `power1_bench(n, k)` を作りなさい.
4. 関数 `power2(n, k)` を基に, 計算の繰り返し回数を返す関数 `power2_bench(n, k)` を作りなさい.

```
def power1(n, k)
  ans = 1
  for i in 1..k
    ans = n * ans
  end
  ans
end
```

```
def power2(n, k)
  ans = 1
  while k > 0
    times = 1
    sub_ans = n
    while k >= 2 * times
      sub_ans = sub_ans * sub_ans
    end
  end
end
```

```

        times = 2 * times
    end
    ans = ans * sub_ans
    k = k - times
end
ans
end

```

```

def power1_bench(n, k)
    count = 0
    ans = 1
    for i in 1..k
        ans = n * ans
        count = count + 1
    end
    count
end

```

```

def power2_bench(n, k)
    count = 0
    ans = 1
    while k > 0
        times = 1
        sub_ans = n
        while k >= 2 * times
            sub_ans = sub_ans * sub_ans
            times = 2 * times
            count = count + 1
        end
        ans = ans * sub_ans
        k = k - times
        count = count + 1
    end
    count
end

```

[問題 7.5] 関数 `power1_bench(n, k)`, 関数 `power2_bench(n, k)` で実験を行い, 関数 `power1(n, k)` のアルゴリズムの計算量, 関数 `power2(n, k)` のアルゴリズムの計算量を予想しなさい.

`power1(n, k)` の計算量は明らかに $O(k)$ である.

$C(\text{power2}(n, k))$ で `power2(n, k)` の計算回数を表すとする.

$k = 2^m$ のときに

$$C(\text{power2}(n, k)) = \log_2 k + 1$$

である.

$k < 2^m$ のときに

$$C(\text{power2}(n, k)) \leq \frac{m(m+1)}{2}$$

となるので,

$$C(\text{power2}(n, k)) \leq \frac{(\log_2 k)^2 + \log_2 k}{2}$$

であり, `power2(n, k)` の計算量は $O((\log_2 k)^2)$ となる.

2 ソート

ソートとは, データの集まりをある規則で順に並べ替えることである. 代表的なソートアルゴリズムとして以下の物がある.

1. 単純ソート
2. マージソート
3. クイックソート

2.1 単純ソート

単純ソートは, 全ての要素同士を比較して並べ替えるソートアルゴリズムである.

```

def simplesort(a)
    for i in 0..a.length-2
        for j in i+1..a.length-1
            if a[i] > a[j]
                a[i], a[j] = a[j], a[i]
            end
        end
    end
    a
end

```